

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市宮城野障害者福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市障害者福祉協会	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 4,518人（前年度比 111.5%） ・令和2年度 4,053人（前年度比 48.7%） ・令和元年度 8,323人（前年度比 99.9%）	
	《事業》 ○貸館事業：障害者の自主的な活動及び障害者の福祉に関する市民の自発的活動のための施設の提供その他の援助 ○障害者の福祉に関する講習会の開催その他福祉に関する啓発活動	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 25,928千円 (25,529千円) ・ その他市が負担した費用 1,749千円 (2,528千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	( )は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 平成20年度から利用者アンケートを実施。今年度の回答件数は59件であり、職員の挨拶・対応・説明・身だしなみ・清潔さ・印象の6項目について5段階評価。全項目とも平均3.7点以上となる、高い評価であった。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>協定書及び仕様書に則った管理運営がなされている。条例を基に、施設の設置目的を踏まえた基本方針が策定されており、施設内への掲示や所内研修、センター内他法人との合同会議等において職員間、事業者間で共有が図られている。</p> <p>地域社会に対する障害者の理解促進を図る取組みは、今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となったものがあったが、近隣児童館や近隣企業に対して障害福祉の啓発や相互理解に努めており、今後も各関係団体等と相談しつつ、連携強化に努めている。</p>	24/24
II 施設の運営管理体制	<p>センター内他事業所とのミーティングや調整会議を通し、個人情報の取扱いなど適切な運営が行われている。また、災害時における対応策の見直しや行動マニュアルの作成等を通して災害発生時の対応体制を整えている等、継続した取組みが行われている。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>清掃委託業者のみならず、職員も定期的に館内を巡回し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境が維持されている。</p> <p>また、新・仙台市環境行動計画を基に節電、節水、ごみの減量等に取り組んでいるほか、利用者に対しても、環境に配慮した行動の呼びかけが行われている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>全職員を対象に外部講師による接客研修等を通して接客マナーの向上に努めている。利用者アンケートでも3.7点以上（5点満点）を得ており、ある程度高い評価を得ている。</p> <p>利用者への説明を全職員が可能となるよう受付窓口で業務手順を掲示したり、パンフレットやチラシ類にはルビをつけたり文字を大きくするなど分かりやすく情報提供できるように努めている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>日常的に敷地内の点字ブロックや通路等を点検し、利用者にとって利用しやすくなるよう、施設の維持管理を行っている。また、利用者アンケートに基づいて各種講座を企画する等、ニーズを取り入れた施設運営に取り組んでいる。</p> <p>貸館団体の取組みを冊子にし、町内会に配布する等の情報発信も積極的に行っている。</p>	9/9

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台障害者福祉協会）による自己評価》
<p>障害のある方とその家族が住み慣れた地域で、安全にいきいきと暮らすことができるよう、地域交流や障害者の理解・啓発など地域に根ざした福祉活動に力を入れ、指定管理者事業計画に基づき事業に取り組んだ。令和3年度は、コロナ禍にあって様々な活動の制限を受ける中で、感染防止対策を講じながら障害のある方とその家族の活動と交流の場を提供できるように努めたところである。その中でコロナ感染者数が再び増加に転じた令和4年1月以降は、文化創作教室やコンサート、地域懇談会への参加等を中止せざるを得ない状況も生じたが、全体としては地域の障害者福祉の拠点施設として、地域リハビリテーションの推進に一定の役割を果たすことができた。</p> <p>センター事業の推進にあたっては、地域における福祉関連施設等の他、三つの連合町内会や市民センター、児童館、民間企業等と協力関係を築き、イベントの参加協力などを通じて障害者の地域社会への参加や障害に対する理解啓発に取り組んだ。障害者と地域住民との相互理解を深めるコンサートや交流会など13イベントを企画し、うち10イベントを実施。133名の方々に参加いただいた。貸館事業においては、関係機関や来館者を通じた貸館事業の周知強化に努め、449件（延べ利用）の活動の場を提供した。</p> <p>また、地域防災力向上への取り組みとして、全市一斉実施のシェイクアウト訓練への参加や福祉避難所の開設訓練を実施し、大規模な災害に備えた福祉避難所の人員や災害時における障害者支援の体制強化に取り組んでいる。併せて、令和4年4月から実施される風水害時における人工呼吸器装着児者の電源確保のための避難受入に向けて、仙台市障害者総合支援センターと連携し、設備準備や人員体制の整備を行った。令和4年度においても、障害者福祉の拠点施設として、地域共生社会を目指して地域リハビリテーションの促進に努めていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設内の他法人との連携を図りながら、協定書及び仕様書に基づいた適切な施設の管理運営がなされている。障害者の理解促進については、地域児童館や区社会福祉協議会と協働開催するなど地域交流を継続的に行っている。</p> <p>また、定期的な防災・避難訓練の実施はもちろんのこと、緊急連絡網の作成や災害時行動マニュアルの作成により、職員間で災害時の対応を共有し、福祉避難所についても設営訓練や職員研修を継続して実施していることや、風水害時における人工呼吸器電源確保のための一時避難に関する支援に向けた施設環境と体制の整備に取り組むなど、平常時から災害対策を整えており、地域の障害者福祉の拠点施設としての役割を果たしていると評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課